

記入日（西暦）2024年1月9日

一般社団法人日本医療薬学会 学術委員会委員長 殿

## 医療薬学学術小委員会 研究活動報告書（継続）

### 1. 小委員会名、研究テーマ

小委員会名	2023年度医療薬学学術第1小委員会
研究テーマ	電子添付文書および添文ナビの利活用実態と、その普及に向けた調査研究

### 2. 小委員会の委員長、構成委員

委員長	フリガナ	アオモリ トオル
	氏名	青森 達
	所属施設の名称 (正式名称)	慶應義塾大学病院

構成委員	氏名	所属	次年度
	大谷壽一	慶應義塾大学病院	継続
	津田壮一郎	慶應義塾大学病院	継続
	中田英夫	慶應義塾大学病院	継続
	清宮啓介	慶應義塾大学薬学部	継続
	荒木拓也	群馬大学医学部附属病院	継続
	伊藤護之	埼玉医科大学病院	継続
	赤嶺美奈	和同会薬局	継続
	島田淳史	スエヤス調剤薬局	継続
	坂口眞弓	みどり薬局	継続
田中みずき	みどり薬局	継続	

### 3. 研究の目的

添文ナビは、医薬品等の PTP シートや容器等に表示された GS1 バーコードをスマートフォン等のモバイル端末で読み取ることにより、電子添文、インタビューフォーム、RMP など PMDA で公開している医薬品情報を閲覧することができるアプリケーションである。医療関係者はこれまでよりも速やか、かつ場所を選ばずに最新の添付文書にアクセスすることができるが、その導入の効果を評価した報告はない。

本研究では本アプリ導入前後における医薬品情報へのアクセスに関する質的・量的変化、および添文ナビや電子添付文書の有用性や課題に関し調査する。

本研究の目的は添文ナビの使用状況や改善すべき点、普及上の課題等を明らかにし、さらに電子添付

文書の使いやすいフォーマットを検討することで、今後の利活用の推進につなげることである。

#### 4-1. 研究活動報告（これまでの研究成果と達成度）

##### これまでの研究成果

###### オンライン会議の開催

###### ・第1回

日時:2023年6月30日(金)17:15~18:00

参加者:赤嶺美奈(和同会薬局)、荒木拓也(群馬大学医学部附属病院)、伊藤護之(埼玉医科大学病院)、島田淳史(スエヤス調剤薬局)、坂口眞弓、田中みずき(みどり薬局)、大谷壽一、津田壮一郎、中田英夫、清宮啓介、青森 達(慶應義塾大学病院)

議題:1. 添文ナビアプリについて

現行の添文ナビアプリの仕様と、学会発表等で行われているアプリのメリット・使いにくい点などについて委員会メンバーで共有した。

2. 事前調査の説明

関東私立医大病院薬剤部を対象とした添文ナビの導入状況についての調査結果を報告した。

3. 研究目的の確認

4. 研究計画の説明

###### ・第2回

日時:2023年10月5日(木)17:00~17:20

参加者:荒木拓也(群馬大学医学部附属病院)、伊藤護之(埼玉医科大学病院)、坂口眞弓、田中みずき(みどり薬局)、大谷壽一、津田壮一郎、中田英夫、清宮啓介、青森 達(慶應義塾大学病院)

欠席者:赤嶺美奈(和同会薬局)、島田淳史(スエヤス調剤薬局)

議題:1. プレ調査で使用するアンケートフォームの確認

2. プレ調査の実施方法の打ち合わせ

3. 倫理委員会への付議についての打ち合わせ

###### プレ調査の実施とアンケートフォームの作成

アンケートの構成や質問文に分かりにくいところ、間違いやすいところ、答えにくいところが無いかの確認を目的として、委員会メンバーが所属する施設の薬剤師・看護師を対象にアンケートに回答していただき、アンケートフォームについての意見を聴取した。

寄せられた意見に基づいて文言等を修正し、アンケートフォームを完成させた。

##### 達成度

アンケートフォームの検討を慎重に行なったため、当初計画していた1次調査は次年度へ持ち越しとなったが、2年度目の早期に実施できる見込みであるため、大きな遅れとは考えていない。

#### 4-2. 研究業績（学会発表、論文等）

なし

#### 5. 次年度の活動計画及び到達目標

##### 1. 学術小委員会としての研究活動期間

2024 年 4 月 1 日 ~ 2025 年 3 月 31 日まで 通算 3 年間の 2 年目

- ・ 会議の開催予定回数 4 回

##### 2. 次年度の活動計画及び到達目標

当初、初年度にプレ調査と 1 次調査を行い、2 年度目に規模を拡大した 2 次調査を実施する計画であったが、調査項目の検討を慎重に行ったため、1 次調査の実施が 2 年度目にずれ込んだ。

次年度（2 年度目）は早期に 1 次調査を実施し、その結果に基づいて、二次調査における設問項目の設定を行う。次いで、2 次調査の対象となる医療機関の選定および調査方法の検討を行い、アンケートを実施する。一定期間のアンケート調査を実施後、回答を収集し、結果をとりまとめる。

##### 3. その他

#### 6. 共同研究、他学会・団体からの支援（COI 申告を含む）

研究計画書から変更なし

#### 7. 倫理指針、科学者の行動規範、個人情報保護法等への適合状況（倫理審査等の受審及び承認取得状況を含む）

研究計画書から変更なし

## 8. 研究費支出計画

次年度の研究費支出希望額 500,000 円

費 目	過年度	次年度	全期間
(1)データベースの利用料			
(2)アンケート調査費		200,000	200,000
(3)会場使用料、映像・音響等機材利用料、装飾・案内看板等作成費			
(4)機器等のリース、レンタル費			
(5)印刷、製本費		20,000	40,000
(6)通信、運搬費用			
(7)講師謝金、旅費等(本学会旅費、謝金規程の範囲内に限る)			
(8)運営スタッフ雇用費			
(9)支払手数料			
(10)消耗品費		100,000	100,000
(11)業務委託費			
(12)小委員会活動に直接関連する学会・研修会等への参加費およびそのための旅費			50,000
(13)倫理審査の受審料		60,000	60,000
(14)論文投稿料、掲載料			50,000
(15)雑費			
合 計	0	380,000	500,000

## 9. 次年度支出計画の内訳

- 次年度は2回のアンケート調査を予定しており、1回あたり100,000円、小計200,000円を計上した。
- 書籍の購入を予定しており、それを含めた消耗品費として100,000円を計上した。
- アンケート調査に先立ち、研究倫理委員会への申請が必要であるため、2回分の受審料として60,000円を計上した。
- 書類・資料等の印刷代として20,000円を計上し、合計380,000円とした。